

WHAT 清陵 ? WHY 清陵 ? (2)

平成33(2020)年度から始まる「大学入学共通テスト」の英語については、昨年11月、国立大学協会は総会で、平成33年度から大学入学共通テストのマーク式の英語試験と、大学入試センターから認定を受けた民間試験の両方を受験生に課す方針を示しました。3月26日には大学入試センターから民間試験として認定された試験の発表がありました。本校が実施しているGTEC(Global Test of English Communication)は、民間試験として認定されましたが、最も普及している実用英語技能検定試験、略して英検は、現行の従来型では1日で4技能を測定することができず、不合格となりました。しかし新型の英検は1回の試験で4技能を測定できるので認定されます。

国立大学では英語の民間試験への対応について、共同通信が全ての国立大学82校にアンケートを実施しました。その結果、4月下旬で「合否判定に活用する」と回答したのは、筑波大学、埼玉大学、千葉大学、東京大学、東京外国語大学、東京学芸大学、電気通信大学、一橋大学、信州大学、金沢大学、岐阜大学、長崎大学、琉球大学など13大学でした。回答が得られないのが4大学、「活用しない」と回答した大学はありませんでした。京都大学や九州大学では、現段階では「答えられない」と回答しました。

2月17日付の日本経済新聞の朝刊には「英語、民間試験配点わずか 最大で1割弱 国大協検討」という見出しが載り、さらに、東京大学の福田副学長が3月10日の記者会見で「民間試験は合否判定に使わない可能性が高い」と発言し、一時、民間試験の動向が不透明になりかねない可能性がありました。しかし、2月19日国立大学協会入試委員長が日本経済新聞の記事を打ち消し、さらに東京大学は、4月27日付のホームページの「東京大学の入学者選抜に関する考え方について」において、共通テストにおける具体的な活用方を検討し始めたことが記されています。ということは、国立大学の入試においては、ほぼ英語の民間試験が活用されることとなります。

国立大学が英語民間試験を活用することは、公立大学や私立大学にも影響を与えることとなります。現在でも青山学院大学、学習院大学、上智大学、中央大学、東京理科大学、法政大学、明治大学、明治学院大学など、一部の学部や一定人数に限って民間検定試験を用いた入試が行われています。この動きが多く大学の波及し、英語の大学入試で4技能を課すことが一般化することに繋

がると考えられます。

文部科学省が英語試験を民間試験にこだわるのは、英語の4技能を測定するのに、現行のセンター試験の方法では50万人規模の受験生の力を測定することが難しいという考えがあります。

平成33年度入試から英語の民間試験が実施されることとなりますが、やはり多様な民間試験を活用することが、公平性の確保などの観点から懸念される意見が少なからずあるのも事実です。

大学入試センターは3月に7種類の民間試験を英語の民間試験として認定しました。しかし、個々の民間試験によって目的や評価も異なります。例えば、ケンブリッジ英語検定は、実生活のさまざまな場面でコミュニケーションのための英語を、どのように使うことができるのかを評価する検定試験です。これに対して本校のGTECは、受験者の能力レベルに対応する出題方式とビジネスシーンを想定した出題内容で、実践的な英語力を正確に、かつ総合的なコミュニケーション能力を測定する検定試験です。TOEICは(Test of English for International Communication)は、国際コミュニケーション英語能力テストと言い、英語を母語としない者を対象とした、英語によるコミュニケーション能力を測定するための検定試験です。このように個々の民間試験によって目的が異なっています。また、民間試験は測定するものが異なり、同じ物差しで評価することも課題といわれています。現在、各民間試験の成績スコアは、国際基準のCEFR(Common European Framework of Reference=ヨーロッパ共通言語参照枠)の6段階評価に置き換えて判定することになります。

料金に関しても6000円前後～2万円を超すものまであります。大学共通テストの受験料にさらに、民間試験の検定料がかかることになり、家庭の経済的な負担も少なくありません。

本校では平成33年度の大学入試に対応するため、平成29年度よりGTECを実施してきました。GTECの結果から、本校の生徒の英語における課題は、4技能のなかでも話す力が全国や他校と比較すると弱いようです。話すには、あまり文法などを考えず、まずは話すことに慣れることです。そのためには少しの勇気を奮って話してみましょ。英語圏の人に、ブロークンで話しても、何とか理解してくれるものです。自分のレベルで答えるようにしましょ。また、英会話は上達するのに時間がかかることを理解しましょ。特に、話す・書くという技能はアウトプットですので、聞く・読むというインプットの技能を疎かにしていると、アウトプットすることは難しくなります。モチベーションを維持、高めるには、自ら興味あることや、必要に迫られていることについて英語で話してみてください。話す力を伸ばすには、毎日、英語に触れることが大事だと思います。